

補翼鈔

四

内閣文庫		
函	冊	架
二〇二	四	四
和	三六六六七	類
書	號	



内閣文庫		
番號	和	36667
冊數	4	(4)
函號	202	138

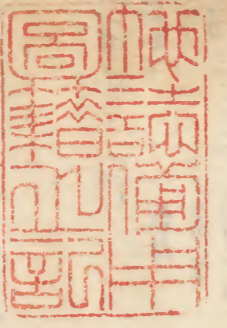
惠比毛世壽
才八板書
ハホカヨメレツ子
十ムウノニフアサ
ミシナ



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

閣下

清水濱
臣藏書



勝地一覽七 惠行

○繪嶋

其本四

定規

伊正

かきかきあつあつと之番より後めそまにとりあ
り心家 瑞福寺
日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり

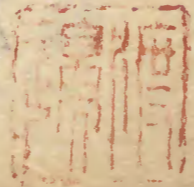
日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり

日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり

日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり

日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり

日 松原 隆徳の松とてしつと 又しつとわに松原りりり



△東市 山城

諸妙法... 今案東西... 山城... 東市... 山城... 諸妙法... 今案東西... 山城... 東市... 山城...

△三輪 門神王
いひし此の... 三輪... 門神王... いひし此の... 三輪... 門神王...

△西山 日
いひし此の... 西山... 日... いひし此の... 西山... 日...

△六輪
いひし此の... 六輪... いひし此の... 六輪...

△引平山 大和
いひし此の... 引平山... 大和... いひし此の... 引平山... 大和...

千尋ありて島の浦... 千尋ありて島の浦... 千尋ありて島の浦...

△北 氷室

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

山 愛宕郡

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

北 氷室... 北 氷室... 北 氷室...

△引平山 大和
いひし此の... 引平山... 大和... いひし此の... 引平山... 大和...

あけりて... あけりて... あけりて...

○櫃河

あけりて... 櫃河... あけりて... 櫃河...

あけりて... 櫃河... あけりて... 櫃河...

あけりて... 櫃河... あけりて... 櫃河...

あけりて... 櫃河... あけりて... 櫃河...

○平即

あけりて... 平即... あけりて... 平即...

あけりて... 平即... あけりて... 平即...

あけりて... 平即... あけりて... 平即...

あけりて... 平即... あけりて... 平即...

○平即

あけりて... 平即... あけりて... 平即...

日
おるそん初うの物うのわらほむとてゆわ
定ちが集
あしんしと廣田の傍に移してかいらいされたものよわ

△引馬即

△龍橋

妹の心はふせられた娘の心小松の心
△河内
△引馬即
△河内

△引馬即
△河内
△引馬即
△河内

△引馬即
△河内
△引馬即
△河内

△引馬即
△河内
△引馬即
△河内

△人回山
△七
△七

ほの東海くわりや東の世とありか
△引馬即
△河内

○日吉日吉

△引馬即

日吉山七の山松の心
△引馬即
△河内

身の上さしり吉れ山
△引馬即
△河内

○日置卿

△引馬即

天仁
△引馬即
△河内

あつこす易いの里とてこ
△引馬即
△河内

△引馬即

△引馬即
△河内

△引馬即
△河内

△引馬即

△引馬即

△斐太細江 柳中

△北義江 柳中

△日笠浦 掃菰

△比治寺灘 備前

△直海河 備後

△母毛豆海 相摸

△裳羽服洋 常陸

△毛 桃

△拾遺者

△志願集

△寺山

△中野集

△日笠浦

△直海河

△母毛豆海

△裳羽服洋

△毛

△拾遺者

△志願集

△寺山

△中野集

△日笠浦

△直海河

△母毛豆海

△裳羽服洋

△毛

△拾遺者

△志願集

△寺山

△中野集

○比叡

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○比叡

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○比叡

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

○志願集

○寺山

○中野集

○日笠浦

○直海河

○母毛豆海

○裳羽服洋

○毛

○拾遺者

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

天保三年五月... 丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波山... 丹波山...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

丹波集

丹波の山は... 丹波の山は... 丹波の山は...

石花海... 石花海...

毛流山... 毛流山...

百重山... 百重山...

手代金... 何の... 何の...

口

未の世にあら... 何吉の... 何の...

口

其の... 何の... 何の...

口

昔川... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

す... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

よ... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

浦... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

何の... 何の... 何の...

何の... 何の... 何の...

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

口

何の... 何の... 何の...

あま 三十一

福田云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日三十四

信の存信

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

お横条

信人云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

あま

信吉の存信

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

小弁

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日六

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

あま

信吉の存信

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

あま

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

日

兼覚云

万葉六

兼覚云



須磨

△梅津

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

信吉の存りしうかりて信のしるをいふ

兼覚云

すもれあるとさくしよんてんてんてんてんてんてん

あすの浦のくまの鶴あつらんてんてんてんてんてん

すもれ浦よりまらあすのちんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

△瀬田入口 挿件
主おや
あらのまじりまじりまじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじりまじりまじり
△十四果おや
あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

あふええとてんてんてんてんてんてんてん

日
すの川ちよとてや世とて人幸ゆ
源本貫す
ありてはしつとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

日三十四

匡房

高れきくちりす
山さるる高き
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

新川半世のほとて
新川半世のほとて
新川半世のほとて

六甲山所井經抄卷之四
菅原朝臣朝隆
下流伝記抄

日十五

前古内言公任

定ねのち言すはしりてしゆりあひりれつらりる
人控へしゆりやいせ山のきりあまのしりしゆり

うさうけとゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまの世の張りしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

山あま
神をうにしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

やい人のしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

このあまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

妹のあまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

松浦舟子しゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

日十八

楊左大臣

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

あまのしゆりしゆりしゆりしゆりしゆりしゆり

△八世祖...
△十春...
△十春...

あまの釣ヶ原をこしつゝ

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

△十春...
△十春...

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

あまの山をぬきけり

△十一おぼ
つらみののあらうまは
まはらやうまは
まはらやうまは

△十二新本寺
のまのけののろくま
のまのけののろくま
のまのけののろくま

△右神邊武本のみやま
つみののろくまは
つみののろくまは

△十三新
まはらやうまは
まはらやうまは
まはらやうまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

△十四
まはらやうまは
まはらやうまは
まはらやうまは

△十五
まはらやうまは
まはらやうまは
まはらやうまは

△十六
まはらやうまは
まはらやうまは
まはらやうまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

神のいのちらふまは
神のいのちらふまは
神のいのちらふまは

万葉集

長田王

△田原本
葦原のきやの里へ入る
ありのちしき
命を命とす

ついでに仲津向は田原の神見婦のわらへ

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△田原本
命を命とす
命を命とす

命を命とす
命を命とす

△秋の神事
いづれのやうに
いづれのやうに
いづれのやうに

△十神
秋の神事
いづれのやうに
いづれのやうに

いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事

いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事
いづれのやうに秋の神事

此奇抄の末の二ツ
附記の二の末の二と
すの八と

さきよの地へさきよの末娘をちよよと名け人か
さきよの娘をさきよと名け人か
母南留伊高

ち君のつとめをさきよと名け人か

橋のつとめ

△伊高と名け人か
△橋のつとめ又伊高と名け人か

橋のつとめをさきよと名け人か

橋のつとめをさきよと名け人か

橋のつとめ

同

伊高と名け人か

東のつとめをさきよと名け人か

一日よちらさきよと名け人か

さきよ

伊高

さきよと名け人か

橋のつとめ

丹は國人

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

さきよと名け人か

△此抄 ち保の二
△此抄の二の末の二と
すの八と

日廿

ついでに新中よりぬりまはさるに

しるしを尋ねたるを根拠に根山よりなる

△百葉一 日本紀用那羅字及平文乃 宋字曰那紀用諾葉字 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△百葉一 天和 係上節

△
ひつり
あまてすあ

△
あまてすあ
ひつり
あまてすあ

△
あまてすあ
ひつり
あまてすあ

ひつり
あまてすあ
ひつり
あまてすあ

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

あまてすあ
ひつり
あまてすあ
ひつり

右重藤山守をうしむる
西守をうしむる
世号紀伊ノ御信
也

天をわがめらるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

いあやういしあはるる

△五世 道隆
△六世 道隆
△七世 道隆

いあやういしあはるる

△七世 人花
△七世 人花

いあやういしあはるる

△本
あつたものさうりやう
やのまねはあつた

日十四
天の東ののろまののろののり
あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あ
あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

あまののろののろののろののり
あまののろののろののろののり

△九世前 家持
△七世前 家持
△六世前 家持
△五世前 家持
△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

△八世前 家持
△七世前 家持
△六世前 家持
△五世前 家持
△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

△七世前 家持
△六世前 家持
△五世前 家持
△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

△六世前 家持
△五世前 家持
△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

△五世前 家持
△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

△四世前 家持
△三世前 家持
△二世前 家持
△一世前 家持

日十八 田舎 稲あ

日十九 田舎 稲あ

日二十 田舎 稲あ

日二十一 田舎 稲あ

日二十二 田舎 稲あ

日二十三 田舎 稲あ

日二十四 田舎 稲あ

日二十五 田舎 稲あ

日二十六 田舎 稲あ

日二十七 田舎 稲あ

日二十八 田舎 稲あ

日二十九 田舎 稲あ

日三十 田舎 稲あ

日三十一 田舎 稲あ

日三十二 田舎 稲あ

日三十三 田舎 稲あ

日十一
君のうらやまのふりかへりて
日十二
味やうらやまのふりかへりて

日十三
味やうらやまのふりかへりて

日十四
味やうらやまのふりかへりて

日十五
味やうらやまのふりかへりて

日十六
味やうらやまのふりかへりて

日十七
味やうらやまのふりかへりて

日十八
味やうらやまのふりかへりて

日十九
味やうらやまのふりかへりて

日二十
味やうらやまのふりかへりて

日二十一
味やうらやまのふりかへりて

日二十二
味やうらやまのふりかへりて

日二十三
味やうらやまのふりかへりて

日二十四
味やうらやまのふりかへりて

日二十五
味やうらやまのふりかへりて

日二十六
味やうらやまのふりかへりて

日二十七
味やうらやまのふりかへりて

日二十八
味やうらやまのふりかへりて

日二十九
味やうらやまのふりかへりて

日三十
味やうらやまのふりかへりて

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

△大和郡
△額田王

日 今春批

△志

身人部

△楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

お侍の... 志... 身人部... 楠津西生郡又住吉郡

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

△世

位者の名をなすある意をわけて立しるす事なり。

位者名は位者名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

位者の名をなす事なり。位者名は位者名をなす事なり。

△楠山後葉八巻投合

勝次

勝地一覽 八年

年未收

桑門契仲



Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

○

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a list or record of land parcels.

○類字名所補翼抄 大上守主以本書

並吐懷編

寶曆二水兄申 菱 四月十日未斗寫平

△榎山拾葉八卷村上南道主卜

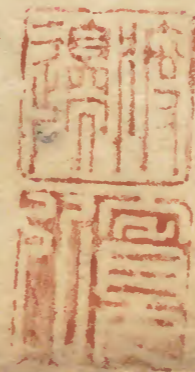
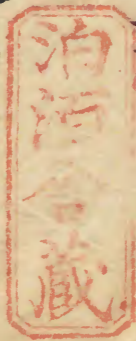
同年菱 五月廿二日午計校合平

寶曆八戊寅冬 十一月十八日寫本付立

紙教三百二十四枚

吐懷編共 於合五卷

吐懷編共



比路武

